

I 平成27年度事業報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

当協会は、昭和23年8月に財団法人埼玉県消防協会として設立され、「消防思想を普及徹底し、消防諸施設の改善と消防活動の強化を図り、もって社会の災害を防止し、人類共通の福祉の増進に寄与すること。」を目的に活動している。

公益法人制度改革関連法の規定に基づき、平成24年4月1日付けをもって、公益財団法人埼玉県消防協会へ移行した。この移行と共に公益性をより高め、県民の更なる安心・安全の確保を図り、福祉の増進に寄与することが求められている。

当協会の事業の内容は、地域の消防・防災活動の中核的な担い手である消防団員及び消防職員への支援を通じ、地域の災害の防止に貢献するための事業を行っているが、その概要は次のとおりである。

1 事業の概要

(1) 第67回定例表彰式

ア 表彰者概要

平成27年10月23日(金)「さいたま市民会館うらわ」を会場として、消防団、消防団員及び企業など延べ52団体2,535人を表彰した。

イ 死亡特例表彰

在職中に死亡した消防団員10人に死亡特例表彰を授与した。

(2) 慰霊祭事業

ア 慰霊祭

平成27年11月16日(月)県消防学校の屋内訓練場を会場として、消防殉職・殉難者84柱の御霊に対する慰霊祭を挙行、遺族及び消防関係者268人が参列した。

イ 死亡弔慰金の交付

在職中に死亡した消防団員19人、消防職員6人の計25人の遺族に対して弔慰金を交付した。

(3) 第22回全国女性消防操法大会

平成27年10月15日(木)に横浜市訓練センターで開催された「第22回全国女性消防操法大会」に、鴻巣市消防団が埼玉県代表として出場し、前回大会の毛呂山消防団に同じく全国4位となり「優秀賞」に輝い

た。

なお、個人の部では、1番員の「関口萌美さん」が個人賞を受賞した。

(4) 消防団員研修事業

ア 消防団長等幹部研修兼臨時表彰式

平成27年10月3日(土)さいたま市民会館うらわにおいて、消防団長等幹部研修兼臨時表彰式を開催した。

同研修会等には、消防団長等の幹部及び7月25日(土)に開催された「埼玉県女性消防団員大会」に出場の女性団員など計約300人が参加した。

講師には、埼玉県出身で前消防庁長官の「坂本森男氏」を招き、「消防行政と地域防災」についての講演が行われ、大変好評であった。

また、表彰式には「埼玉県女性消防団員大会」で事例及び啓発劇等の発表者に対して表彰状を、大会運営に協力いただいた運営スタッフに対して感謝状の贈呈を行った。

イ 消防団員基礎教育研修

県消防学校と連携し、現地研修修了者(概ね入団3年以内)の新入消防団員を対象とした基礎教育研修を5回実施、合計503人(女性42人)が受講した。

回数	実施日	受講者数(女性数)
第1回	平成27年12月19日(土)	81人(4人)
第2回	平成27年12月26日(土)	104人(15人)
第3回	平成28年2月6日(土)	113人(1人)
第4回	平成28年2月27日(土)	105人(13人)
第5回	平成28年3月12日(土)	100人(9人)
合計		503人(42人)

ウ 消防団員幹部研修(初級幹部科・指揮幹部科)

県消防学校と連携し、消防団幹部を対象とした初級幹部科・指揮幹部科(現場指揮課程・分団指揮課程)の研修を実施した。

種別	実施日	受講者数(女性数)	
初級幹部科	平成28年1月15日(金) 1月16日(土)	93人(0人)	
指揮幹部科	現場 指揮課程	平成28年1月29日(金) 1月30日(土)	52人(0人)
	分団 指揮課程	平成28年2月13日(土)	86人(0人)
合計		231人(0人)	

エ 女性消防団員研修

県防災学習センター等において、女性消防団員を対象として災害時の被害軽減を目的とした「DIG 訓練（災害図上訓練）」を実施した。

講師は、元川越市消防団員で、「埼玉県防火防災指導者」並びに「防災士」として活躍中の「田中緑氏」並びに同じく防災士の「大沼早苗氏」「二崎博美氏」「高橋さとみ氏」「対馬代志子氏」に依頼した。なお、田中緑氏以外の4名の方々も現役の女性消防団員である。

回数	実施日	受講者数
第1回	平成27年 9月19日（土）	75人
第2回	平成27年12月 5日（土）	67人
合 計		142人

オ 住宅用火災警報器設置推進指導員研修

県防災学習センターにおいて、県内における住宅用火災警報器の設置率向上を目的とし、埼玉県央広域消防本部予防課、課長の「石川岩文氏」を講師に迎え、住宅用火災警報器設置推進指導員研修を2回実施、消防団員等196人（女性46人）が受講した。

回数	実施日	受講者数（うち女性団員数）
第1回	平成27年9月27日（土）	100人（24人）
第2回	平成27年9月27日（土）	96人（22人）
合 計		196人（46人）

カ 日本消防協会研修

消防団幹部特別研修に男性1人（寄居町消防団長）、消防団幹部候補中央特別研修に男性3人（1・2・4ブロック各1人）、女性2人（1・4ブロック各1人）を日本消防協会に推薦、全員が受講した。

(5) 普及啓発・活性化事業

ア 埼玉県女性消防団員大会

平成27年7月25日（土）、深谷市花園文化会館アドニスを会場とし、県内全消防団の協力の下、埼玉県の後援を受け実施し、消防関係者等598人が参加した。

この大会は、当協会として初めての試みであり、女性消防団員の活性化を目的に開催したもので、消防団員による活動事例発表、火災予防等啓発劇の発表のほか、一昨年に全国女性消防操法大会で第4位となり優秀賞を獲得した「毛呂山女性消防団員」による消防操法の展示も披露された。

また、この大会の中で、県内初の女性消防団員が誕生した「11月1日」にちなみ、同日を「埼玉県女性消防団員の日」とすることも宣言された。

この宣言を受け、11月1日の50日前に当たる9月12日(土)及び11月1日(土)の「埼玉県女性消防団員の日」を中心として、県内全消防団が消防団員募集キャンペーンを各地で実施した。

イ 全国女性消防団員活性化事業

第21回全国女性消防団員活性化「佐賀大会」が平成27年10月29日(金)に開催され、本県からは、消防協会長のほか17消防団から女性消防団員等関係者68人が参加した。

ウ 防火ポスター・防火防災作文の募集及び配布

全日本消防人共済会の依頼を受け、県内小中学校あてにポスター等の募集を行うとともに、防火ポスターの配布を行った。

今年度は、応募のあった防火ポスター2点を推薦したが、入賞には至らなかった。

なお、日本消防協会から提供のあった防火ポスター1,096枚を県内消防団に配布した。

エ 埼玉県防災講演会開催

埼玉県防災学習センターとの共催により、県内4会場において災害リスク評価研究所代表の「松島康生氏」を講師に迎え、県民、消防職団員及び埼玉県防火防災指導者等を対象に防災講演会を実施した。なお、開催地、実施日及び受講者等については、以下のとおりである。

- 第1回 …… 川越南文化会館
- 第2回 …… 横瀬町町民会館
- 第3回 …… 春日部市民文化会館
- 第4回 …… 朝霞市コミュニティーセンター

回数	実施日	受講者数
第1回	平成27年 8月29日(土)	148人
第2回	平成27年 9月12日(土)	175人
第3回	平成27年 9月26日(土)	76人
第4回	平成27年11月 7日(土)	155人
合計		554人

オ 防火防災指導者人材バンク事業

県民の防災意識の高揚を図るため、防災に関する知識や経験を持つ消防職・団員OBなどを防災講演会や防災訓練の指導者として、自主防災会、自治会及び企業等に派遣している。

なお、平成27年度の派遣件数は4件9人、防火防災指導者の登録総数は94人である。

(6) 福利厚生事業

ア 消防団員等福祉共済制度

公益財団法人日本消防協会による、消防職団員を対象とした消防団員等福祉共済の加入給付手続を行っている。

平成27年度は、遺族援護金12件、障害見舞金1件、入院見舞金31件、合計44件で総額14,823,000円を給付した。

イ 育英支援金の給付

育英支援規程による、殉職消防職団員の遺児に対する育英支援金の給付を行っている。

平成27年度は該当なしであった。

2 役職員に関する事項（平成28年3月31日現在）

(1) 役員数

役 職 名	常 勤	非 常 勤	備 考
会 長	0	1	代表理事
副 会 長	0	4	理事
理 事	1	16	常務理事1
監 事	0	4	団長職2、会計管理者2
評 議 員	0	16	団長職
計	1	41	

(注) 同一親族等特別な関係にある者の理事等の役員に占める割合0%

(2) 事務局職員数

常務理事兼事務局長	(常 勤)	1 人
主 査	(常 勤)	1 人
主 任	(常 勤)	1 人
書 記	(非常勤)	1 人

(3) 組 織

ア 役 員

会長(1) — 副会長(4) — 理事(17) — 監事(4) — 評議員(16)

坂田秋雄(団長) 西田哲三(団長) 新井義一 *団長(2) *団長(16)

内村良一(団長)(常務理事) *市会計管理者(2)

関根哲男(団長) 小島敏幸

倉田健次(団長)(県危機管理防災部長)

*団 長(10)

*市 長 会(2)

*町 村 会(2)

*消 防 長 会(1)

イ 事務局

常務理事

兼事務局長(1) — 主査(1) — 主任(1) — 書記(1)

新井 義一 鷹野 淳子 栗原 幹雄 坂本 静男

3 その他

付属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。